

池上秀畝の人柄や作品の魅力を発信しよう

池上秀畝は高遠の偉大な芸術家であり、「信州高遠美術館」でも企画展が行われています。高遠中学校の3年生は秀畝の業績や作品の魅力を学習するために美術館に出かけ対話型鑑賞活動を行いました。秀畝の魅力を伝えるプロモーションビデオ（以下、PV）を制作したいと考え、作品づくりに必要な知識・技能を習得するために「Canva」活用のためのワークショップを講師を招いて行いました。

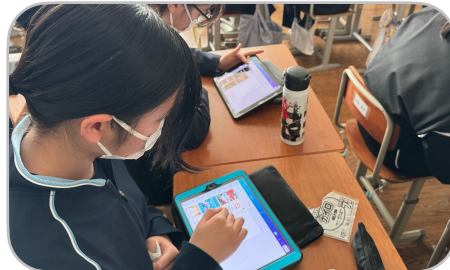
美術館に出かけた際に集めた素材（画像や動画）や取材したことをもとにグループごとにプロモーションビデオの制作していきます。出来上がった作品は信州高遠美術館に展示されました。



①美術館に出かける前に池上秀畝について調査活動を行いました。（前々時）前時には館長さんとともに美術館の中を巡り、グループごとに対話型の鑑賞を行ったり他の展示作品の鑑賞を行ったりしました。



②生徒は池上秀畝の作品からどのような魅力があるかを見つけ出します。作品から受ける印象、どんな特徴があるか、人々の注目を集める要素は、などPV制作に生かせるテーマを考えています。（前時）



③すでにCanvaを使ってみたことのある生徒もいました。しかし、専門家の講師から説明を受け、アプリ活用の全体像をつかむことができました。（本時）



④長野県立美術館で開催された「池上秀畝展」のポスターを使ってデザインについてポイントを学びました。誰にメッセージ伝えるのかをはっきりさせることによって色合いやフォントをどうするかわかってきました。（本時）

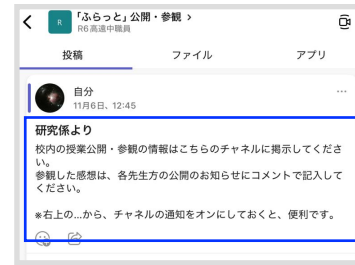
高遠中学校 美術科 小林健太郎先生の授業をもとに推進センターで編集させていただきました



Teamsを活用して

気軽に授業を見合う環境づくり

「ふらっと」公開・参観 チャンネル（高遠中学校チーム）

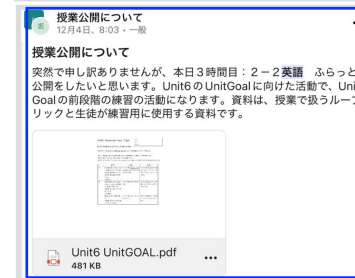


高遠中学校ではTeamsに「ふらっと」公開・参加チャンネルを開設して、公開授業や気軽にみてもらいたい授業の情報を共有しています。今回の小林先生の公開授業もこのチャンネルに公開されていました。

高遠中学校研究主任の花村純平先生は、授業をお互いに見合い学び合える機会を増やしたいと考えました。指導案がなくても気軽にみられる雰囲気を作りたいとTeamsに気軽に書き込めるように呼びかけました。

公開授業の指導案を共有したり、授業後の感想の集約もTeamsからフォームに書き込めるようにしています。

思いついた時に授業を公開する気やすさです。生徒が使用する資料もそのまま共有します。この授業で使用するルーブリックが共有されたことで、授業後には、先生方間で「評価」について議論が深まったと言えます。



参観された先生が授業の様子を記録して共有されていました。授業があつて参観できなかった先生も後から見て参考にできます。

「Canva」使用のワークショップについて書き込みがあり、先生方もアプリの活用に知りたいたいと参加されていました。（下の写真）

